



# 熊谷市 記者クラブ取材情報

令和元年 9月26日発表  
担当課:熊谷保健センター

## 事業の名称等

市民協働「熊谷の力」ピンクリボンライトアップイベント・点灯式

- 日時 令和元年10月1日(火) 点灯式17時30分から
- 場所 妻沼聖天山(熊谷市妻沼1511)
- 事業概要
  - 【イベント・点灯式】  
とき 令和元年10月1日(火)イベント16:00頃から  
点灯式17:30から(来場者とともにカウントダウン)  
場所 妻沼聖天山(熊谷市妻沼1511)  
内容 平和の塔及び貴惣門のライトアップ、ピンクリボン御朱印、アトラクション、  
参道キャンドルナイト、最新型乳がん視触診モデル体験コーナーなど
  - 【目的・内容】  
乳がん検診受診率の向上とがんの早期発見・早期治療の重要性を啓発し、受診行動につなげることを目的として、NPO法人くまがやピンクリボンの会と協働し、世界的なピンクリボン月間である10月に、妻沼聖天山境内の平和の塔と貴惣門をピンク色にライトアップします。
  - 【影響・効果】  
10月は、ラグビーワールドカップ2019開催期間中であるため、市民や国内外の観光客の皆様、美しくライトアップされた平和の塔や貴惣門を御覧いただくとともに、がん検診への理解を深めていただき、家族やパートナーとがんについて話す機会をもつことで受診行動を促すことが期待されます。
- 特徴やPRポイント
  - 国宝を有する妻沼聖天山を訪れる国内外のお客様に「熊谷市は世界のピンクリボン月間に賛同し、がん撲滅に力を注いでいる。」と大きくアピールすることができます。
- その他
  - NPO法人くまがやピンクリボンの会 代表理事 栗原和江 080-8908-2108

資料の有無(  有 ・  無 )

担当者 市民部熊谷保健センター 中村

連絡先 048-526-5737

国宝 聖天様 平和の塔 & 貴惣門

ピンクリボン  
ライトアップ

ライトアップ期間予定 ▶ 10月1日～31日 17:00～21:00

毎年10月1日は世界的な「ピンクリボンデー」

1年に1日限り、世界がピンク色に染まる日。世界規模の乳がん啓発キャンペーンです。  
自分のために、大切な人のために、正しい知識と検査をおすすめします。

令和元年 2019 **10.1** [火] 会場：妻沼聖天山 ※雨天決行

点灯式

17:30～18:30 平和の塔、貴惣門

来場者と共にカウントダウンをして点灯します。

ピンクリボン御朱印 受付時間 10:00～18:30 頒布価格：300円

「ピンクリボンデー」にちなみ10月1日は御朱印が「ピンクリボン」仕様になります。ピンクリボン御朱印は10月1日限定です。



アトラクション 場所：石舞台 & 貴惣門

・「TEAM 楽演」17:50頃から ・「フラ・オハナ・カプア・イビ」(フラダンス) 17:00頃から

オリジナルピンクリボングッズ販売、最新型乳がん視触診モデル体験コーナー 16:00～

御菓子司花扇 特製「おっぱいまんじゅう」限定販売



参道キャンドルナイト

17:00～

熊谷市立妻沼西中学校、妻沼東中学校生徒が描いた絵やメッセージが光で浮かび上がるルミナリエバッグが参道を灯します。

\*ピンクリボン(Pink ribbon)とは、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進すること、などを目的として行われる世界規模の啓発キャンペーン、とそのシンボル。

●主催/NPO法人くまがやピンクリボンの会 令和元年度市民協働「熊谷の力」事業 ●共催/妻沼聖天山歓喜院・熊谷市医師会  
●協力/リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越 ●後援/熊谷市・熊谷市教育委員会・行田市教育委員会・(一社)行田市医師会・(一社)鴻巣市医師会



「ピンクリボン・デー in くまがや」は乳がん撲滅のため、検診の早期受診の大切さを女性はもちろん、パートナーとしての男性にも知ってもらいたい、その思いで 2010 年からはじまったどなたでも参加できるイベントです。乳がん検診率 100% を目指して、今年も開催します！

## NPO 法人くまがやピンクリボンの会プロフィール

くまがやピンクリボンの会は 2008 年 5 月埼玉県熊谷市に設立。2016 年 4 月に NPO 法人となりました。

活動のビジョンは「乳がんの早期発見、早期治療につながる検診率向上」というもので「いつ自分に起こるかかわからない」、乳がんを自分や家族の問題として意識してほしいと願い、活動しています。現在、日本人女性の 10 人に 1 人（埼玉乳がん検診検討会発表数値）が乳がんを発症しています。

直近の検診率は埼玉県 15.8%。熊谷市 18.3%、行田市 11.9%、深谷市 12.1%、美里町 24.5%、本庄市 9.8%、鴻巣市 14.1% になっています。

平成 29 年度熊谷市内で乳がんで亡くなった方は 25 人。それぞれお子さんやパートナーを遺して逝ってしまいました。私たちは「彼女たちと同じ悲しみを二度と繰り返してはいけない」という思いで啓発活動をしています。

また、当会では埼玉県初のがん教育「生命(いのち)の授業」に取組み 6 年目となりました。現在、熊谷市委託事業、行田市委託事業として今年度も小中学校 36 校で開催しています。

- \* 熊谷市市民活動支援センター登録団体 \* くまがや共同参画を進める会登録団体 \* NPO 法人子育てネットくまがや 正会員
- \* NPO 法人子宮頸がんを考える市民の会 正会員 \* Over Cancer Together ～がんを共にのりこえよう～ 協力団体
- \* 日本乳癌学会、日本乳癌検診学会、日本臨床腫瘍学会等に参加
- \* 2010 年 第 1 回ピンクリボンデー in くまがやを開催（以降毎年開催）本年度は第 10 回目を迎えます

## NPO 法人 くまがやピンクリボンの会

●代表理事  
栗原和江

実行委員長・理事  
大崎幸恵

理事  
森永嘉子 笠原洋子 栗原直美  
監事 渡邊明子

●運営委員

家永宏美 笠松典子 高橋美佳 中村信子  
内田晴美 高橋真澄 閑野高広 小林和代  
酒井真由美 中島千尋 加藤悦子  
羽賀登喜子 佐高友恵  
松崎伸子（行田支部長）  
根岸友香（本庄・美里支部長）

◆E-mail : [kumagaya.pinkribbon@gmail.com](mailto:kumagaya.pinkribbon@gmail.com)

◆ホームページ [NPO 法人くまがやピンクリボンの会](#) [検索](#)



## 「ピンクリボン・デー in くまがや」9 年間の歩み

**第1回** 平成22年  
10月17日(日)  
会場：AZ 熊谷・熊谷駅  
参加者数 427名

講演会

演題：「乳がんの予防と治療」  
講師：遠藤 正人 先生  
(熊谷総合病院外科部長・乳がん認定医)

**第2回** 平成23年  
10月30日(日)  
会場：AZ 熊谷・熊谷駅  
参加者数 597名

講演会

演題：「乳がんの予防と治療」  
講師：山下 純男 先生  
(深谷赤十字病院 外科部長)

**第3回** 平成24年  
10月21日(日)  
会場：AZ 熊谷・熊谷駅  
参加者数 658名

講演会

演題：「乳がんの予防と治療」  
講師：山下 純男 先生  
(こくさいクリニック 院長)

**第4回** 平成25年  
10月20日(日)  
会場：AZ 熊谷・熊谷駅  
参加者数 740名

講演会

演題：「がんとお金の話」  
講師：黒田 尚子 先生  
(FP・CNJ 認定乳がん体験者コーディネーター)

**第5回 記念大会** 平成26年  
12月7日(日)  
会場：文化センター  
参加者数 428名 (講演会参加者数)

講演会

演題：「ママが生き証」  
講師：小松 武幸 先生 (放送作家)  
演題：「キレイは生きる力になる」  
講師：山崎 多賀子 先生 (美容ジャーナリスト)

**第6回** 平成27年  
9月23日(水・祝)  
会場：文化センター  
参加者数 573名 (ピンクリボン啓発ウォーク 講演会別冊)

講演会

演題：「乳がんになっても赤ちゃんがほしい」  
講師：赤坂 友紀 先生  
(NPO 法人がんネットジャパン認定 乳がん体験者コーディネーター)

**第7回** 平成28年  
10月30日(日)  
会場：文化センター  
参加者数 490名

講演会

演題：「マンモで見つからない乳がんを救う」  
講師：増田 美加 先生  
(女性医療ジャーナリスト)

**第8回** 平成29年  
10月21日(土)  
会場：イオン熊谷・八木橋にて  
参加者数 387名

講演会

演題：「乳がんと生きる～31歳でがんを経験して～」  
講師：御船 美絵 先生  
(NPO 法人がんネットジャパン認定 乳がん体験者コーディネーター Pink Ring 代表)

**第9回** 平成30年10月28日(日) 参加者数 350名  
会場：文化センター

講演会

演題：「乳がんってなあに？」 (・埼玉医科大学総合医療センター プレストケア科 教授)  
講師：矢形 寛 先生 (・NPO 法人埼玉乳がん臨床研究グループ 副理事  
・埼玉乳がん検診検討会 代表 世話人)



## 56 台 広がる「NPO 法人 くまがやピンクリボンオリジナル自動販売機」の設置

各企業様、施設様のご協力を得てオリジナル自販機が市内外に多く設置されています。売上金の一部は日本対がん協会と当会の啓発活動費に充てられます。

- ◆設置場所/クリニカルエステ花蔵 (行田市)・大妻嵐山高校・立正大学熊谷キャンパス・大谷接骨院 (村岡)・TM クリニック・大和屋(株)くまがや館・医療法人 麻葉会 大塚医院・くぼしまクリニック・かみのクリニック・くまがやクリニック・おおしまクリニック (深谷市)・こくさいクリニック (深谷市)・埼玉北部ヤクルト販売株式会社 (本社・本庄市ほか各営業所 20 ヵ所)・医療生協さいたま 熊谷生協病院・SHAFT(深谷市)・保育所 はっぴーたいむ吉里山園 (行田市)・森川整形外科医院・統合医療ライフクリニック・羽生総合病院・行田市保健センター・埼玉純真短期大学・第一生命熊谷支社・第一生命秩父営業オフィス・行田市バス観光案内所・行田市水道局・ユースエンジニアリング㈱・武蔵野銀行本庄支店・藤間病院・株式会社 中島水道・あにもの森・深谷寄居医師会メディカルセンター

